

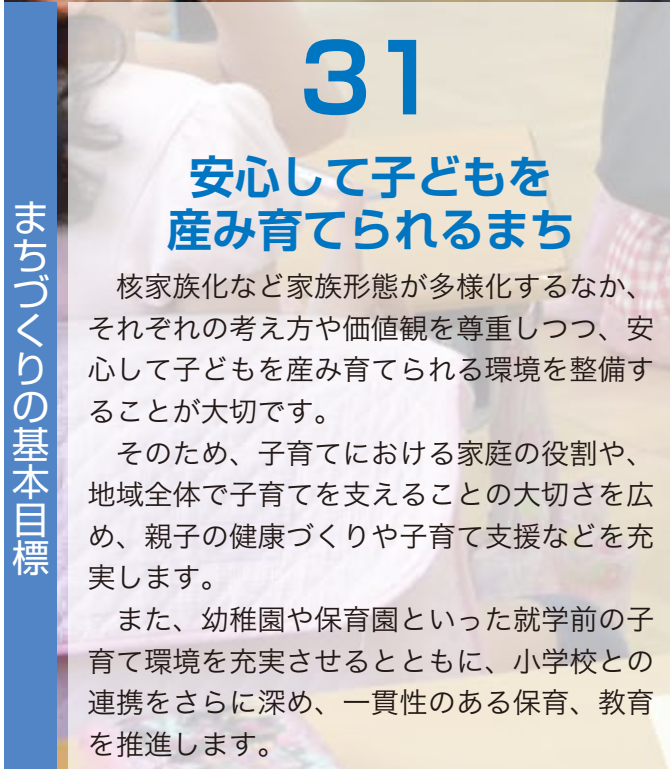


将来像

3

子どもたち を健やかに育むまち

(「人づくり」の分野)



31

安心して子どもを産み育てられるまち

核家族化など家族形態が多様化するなか、それぞれの考え方や価値観を尊重しつつ、安心して子どもを産み育てられる環境を整備することが大切です。

そのため、子育てにおける家庭の役割や、地域全体で子育てを支えることの大切さを広め、親子の健康づくりや子育て支援などを充実します。

また、幼稚園や保育園といった就学前の子育て環境を充実させるとともに、小学校との連携をさらに深め、一貫性のある保育、教育を推進します。

32

子どもが生きる力・考える力を身につけられるまち

次代を担う子どもたちが、自ら進んで考え、判断し、表現できるよう、学力・体力の向上や、社会性・道徳性などの豊かな心を育てることが大切です。

そのため、学校の教育内容を充実するとともに、教育環境の整備を進めます。また、家庭、学校、地域社会がそれぞれの役割を果たしつつ連携することで、生涯にわたって互いに思いやり、学び合える人づくりを進めます。

まちづくりの基本目標

子どもたちを健やかに 育むまち （「人づくり」の分野）

33

青少年や若者が希望や夢を 持つことができるまち

次代を担う青少年や若者が、自分自身を認め、大切に気づくなか、自己肯定感を高め、希望を持って社会生活を送ることができるようになることが大切です。

そのため、青少年や若者が自らの力を発揮し、社会に貢献できるよう、家庭・学校・地域社会が協力し、青少年や若者の考え方や生き方に寄り添いながら、心身ともに健やかに育つための環境づくりに取り組みます。また、すべての青少年や若者の社会的自立を支援します。

311 母子の健康づくりの支援

政策分野
3

人
づ
く
り

10
年後の姿

健康診査や予防接種により母子ともに健康が保たれ、母子保健に関するさまざまな相談や情報発信を通じて、子育て家庭が安心していきいきと子育てに取り組んでいます。

子どもたちを健やかに育むまち



妊 娠期からの母子の健康づくりを支援します

健康で安心して子どもを産み育てられる環境をつくるため、妊婦健診など妊娠期からの母親に必要な支援や、子どもに対する乳幼児健診、予防接種などを充実します。



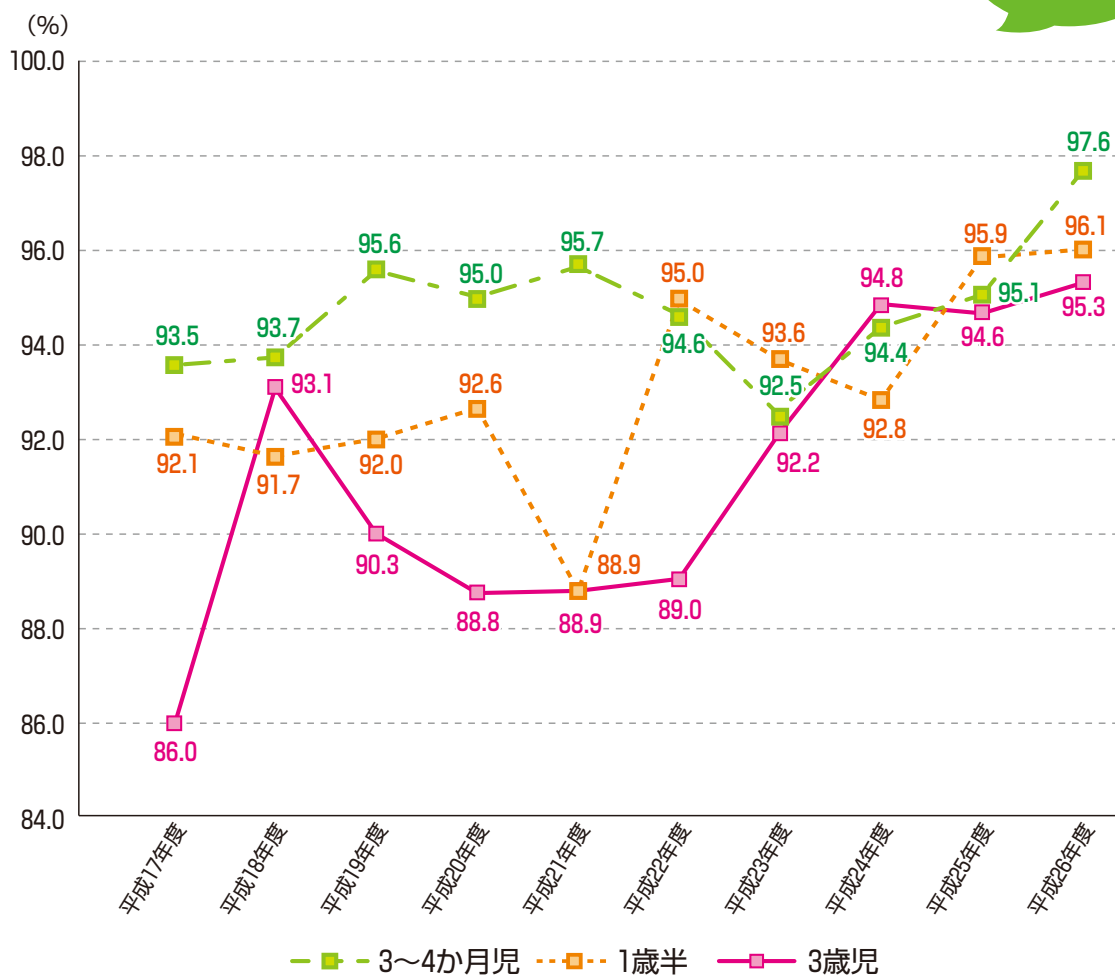
安 心して育児に取り組めるよう、母子保健に関するさまざまな情報を発信します

安心して子育てに取り組むことができるよう、母子保健や子育てに関する講座などを開催し、情報発信を充実します。また、乳幼児を育てる家庭に対して訪問を行い、さまざまな悩みや相談に対応するとともに、関係機関と連携しながら必要な子育て支援サービスへつなぐなど、孤立しがちな子育て家庭を支援します。



乳幼児健診受診率の推移

データで見る
清瀬



312 子育ての支援

政策分野

3

人

づ

く

り

10

年後の姿

子育てに安心と喜びを感じる親が増えるとともに、子どもを育てる家庭と子どもたちを地域全体で支えようとする意識が広がり、子どもたちが健やかに成長しています。



子どもたちを健やかに育むまち

安 定した子育てを支える基盤を築きます

保育園や学童クラブ、幼稚園等により、仕事と子育ての両立など、多様化する保育ニーズに対応するとともに、人間形成の基礎を培う大切な時期の子育てを支援します。また、乳幼児や義務教育就学児への医療費助成や、各種手当の支給などを行い、子育てにかかる経済的負担の軽減を図ります。

ゆ とりを持って子育てができるよう支援します

在宅で子育てをしている家庭や多様な就労形態の家庭が、ゆとりを持って子育てを行うことができるよう、手助けが必要なときに一時的に子どもを預けられたり、訪問によって育児や家事の手助けを受けられる育児支援の充実を図ります。



子育て家庭の不安の 解消に努めます

子育てに対する不安や悩みを軽減するため、講座の開催や、相談事業、訪問事業を実施します。また、保護者間の情報交換や、気持ちをリフレッシュできるような、交流と学びの場を身近な地域で提供します。さらに、さまざまな機会や媒体を活用して、子育て支援事業に関する情報を提供し、子育てにおける家庭の役割や、子育てを地域で支えることの大切さについて普及・啓発します。

321 「生きる力」「考える力」を育む学校教育

政策分野 3

人づくり

10
年後の姿

教員の指導力の向上や教育課程の工夫と改善によって学校教育が一層充実することで、子どもたちに「確かな学力」や「豊かな人間性」、「健やかな体」といった「生きる力」「考える力」が育まれています。



子どもたちを健やかに育むまち

子どもたちの学力の向上を図ります

教師の指導力を高めるとともに、学力調査にもとづく授業改善や教育課程の工夫、少人数指導や放課後補習などを充実させることで、子どもたちの基礎学力の確実な定着を図り、さまざまな課題に対して自ら考え判断し、行動できる力を育成します。

子どもたちの「撓やか(しなやか)で強か(したたか)な心※」と、豊かな人間性を培います

困難を乗り越える体験や社会に貢献する活動、子どもたちの自主的な力を高める取り組みなどを推進することで、撓やかで強かな心を育てます。また、自分や自分以外の命の大切さを感じ・考え・行動できる「命の教育」を家庭・地域社会と一体となって進めます。さらに、道徳教育の充実や、市内にあるさまざまな教育資源を生かした学びの場を創設することで、道徳性、社会性、規範意識、郷土愛など、子どもたちの豊かな人間性を育みます。



子どもたちの心身の成長 と、体力の向上をめざします

体力テストにもとづく授業改善や、家庭や地域社会と連携した運動の日常化などを通して、子どもたちの体力の向上を図ります。また、心身の成長を図る部活動の充実や社会教育と連動した取り組みによって、文化やスポーツ活動に取り組む子どもたちを支援します。さらに、家庭と連携した食育の充実を図り、自らの健康を保持増進できる力を育みます。

※「若竹のような多少のことでは折れないしなやかさ」をイメージした言葉で、子どもに育みたい心の力として「豊かな人間性」に加え「心を鍛える」必要性を表しています。

322 地域連携による学校教育

政策分野

3

人

づ

く

り

10

年後の姿

学校と地域の連携・協働を一層充実することで、子どもたちが健やかに成長するとともに、学校を核とした家庭・地域の力が向上しています。



子どもたちを健やかに育むまち

地域と学校が協働して子どもを健やかに育みます

学校のニーズと地域の人材をコーディネートするしくみをつくり、学校行事や日常の授業、子どもの安全確保など、学校と市民が協働して子どもたちを育みます。

地域・保護者が学校運営にかかわる新しいしくみをつくれます

各校に設置されている学校運営連絡協議会を発展させ、保護者や地域の人々、関係機関などが、学校や教育委員会と協議しながら、ともに学校運営に携わるしくみづくりを進め、地域と協働した特色ある学校づくりを推進します。



「清瀬みらいカフェ」で市民から挙げられた
“将来の清瀬”（教育分野）

人材育成のモデル市



教育の質が高く子育て環境のすぐれたまち



教育環境が良く子育てがしやすいまち



出典：「清瀬みらいカフェ」実施報告書

331 青少年の健全育成

政策分野 3

人づくり

10

年後の姿

次代を担う青少年が自己実現をしながら幸せで自立した社会生活を送っています。大人は子どもの人権を大切にし、乳幼児期から青年期までのライフステージを見守り、育ちを支えています。

子どもたちを健やかに育むまち



青少年の人間性・社会性を育みます

青少年が、命の大切さや他人を思いやる心、奉仕する心、感動する心といった豊かな心を育み、自分自身を見つめ、社会のなかでともに生きる力を養うよう、家庭や学校を越えたさまざまな体験活動を支援します。



悩みや問題を抱える青少年に寄り添った支援をします

子ども家庭支援センターや児童館を身近な相談機関として、青少年の心に寄り添った支援を行います。また、各種相談窓口や関係部署が連携し、一人一人に応じた情報を適切に提供し、問題の解決を図ります。



地 域を上げて青少年を 育成する体制を整えます

学校・地域・関係機関が連携を深め、地域全体で青少年の育ちを支援します。また、地域の活動に学生ボランティアなどを活用しながら、未来を担うリーダーの育成を推進します。

青 少年の居場所を 充実します

文化活動やダンス、スポーツなど、青少年の自主的な活動を支援します。また、地域のなかの安全・安心な居場所として、小学校区を拠点とした放課後子ども教室などの取り組みを充実します。

10
年後の姿

誕生から就労に至るまでの子育て、教育、生き方にかかわる継続的な相談体制と、関係諸機関との連携・協働が確立され、相談者の悩みに総合的に対応しています。



子どもたちを健やかに育むまち

誕生から就労に至るまでの相談を受けつける次世代型の相談センターを設置します

どこに相談すればよいのかわかりにくい、誕生から就労に至るまでの子育て、教育、生き方などに関する相談を、一元的に受けつける「総合相談センター（仮称）」を設置します。

一貫した支援体制の構築をめざします

「総合相談センター（仮称）」は、教育委員会や学校、子育て部門や福祉部門、就労支援部門などと連携・協力し、一貫した支援体制の構築をめざします。また、学術機関、子育てや福祉施設、医療機関などと協働体制を確立し、教育・福祉・保健・医療・心理が連携した多面的な支援の実現を図ります。



「清瀬みらいカフェ」で市民から挙げられた “将来の清瀬”（子育て分野）

若い世代が生活しやすいまち（子育て支援等で若い世代の定住化）（清瀬の自然等の良さと共存すること！）



子育てが安全で楽しく安
くできるまち



子供の元気な声の聞こえる街、子供が遊べる公園、子育て中のお母さんが安心して（清瀬で）働ける町



子育てに年配者を活用するシルバー人材センターに依頼し、その就業の人の半分を市が補てんする



出典：「清瀬みらいカフェ」実施報告書

清瀬の小学生が描く「10年後の清瀬」メッセージ



わたしの想像する清瀬市は、自然に囲まれていて、多くの鳥や昆虫達がたくさん暮していると思います。そして、お年寄がたくさんいて若者達が助け合っているすばらしい清瀬市だと思っています。

もりひな
森陽那さん 清瀬小学校 4年2組

道路は交通が整備され、路面電車や天ぷら油などで走るバスが走っている。畑は少なくなってくるが、守ろうという取り組みができて、南口側にも、大きな児童館ができる。色々変わっていく中で、自然だけは変わらない。

きたはらさなえ
北原咲苗さん 清瀬第三小学校 6年2組

わたしは、はっばとおはながいっぱいあるきよせがすきです。10ねんごのきよせは、もっとはっばとおはながひろがって、のはらみみたいになってほしいです。そこでおべんとうをたべたいです。

せきぐち
関口なるさん 清瀬第四小学校 1年2組

ニンジンの形をしたタワーを作って、ひまわり畑を見下すようにしたいです。ニンジンがたくさん使ったカフェができたらいいと思います。メニューはニンジンケーキ・ジュース・クッキーなどです。

きたやまももか
北山百華さん 清瀬第四小学校 3年1組

しぜんがもっとすこやかになり、あくじをはたらかせる人をへらしよりより、すがすがしいかぜがふきけんこうてきなやさいを、みんながたべる、きよせしにしたい。

さとうゆう
佐藤優有さん 清瀬第四小学校 4年2組

わたしが思う10年後の清瀬は、緑がふえ、より自然が多いまちになっているといいな、と思っています。いま、緑がへっているという現実です。たくさん、林、森があれば、よりいい清瀬になると思います。

すずきはるき
鈴木遥稀さん 清瀬第六小学校 4年1組

※学年学級等は平成26年度当時のものです。